



5月招集会議
6月定例会議



久喜提燈祭り



草蒲夏祭り



鷺宮八坂祭



くりはし夏祭り

令和8年5月招集会議にて、新しい議長・副議長のほか、議会に関する人事を決定しました

正副議長が決定しました



議長
春山 千明



副議長
川内 鴻輝

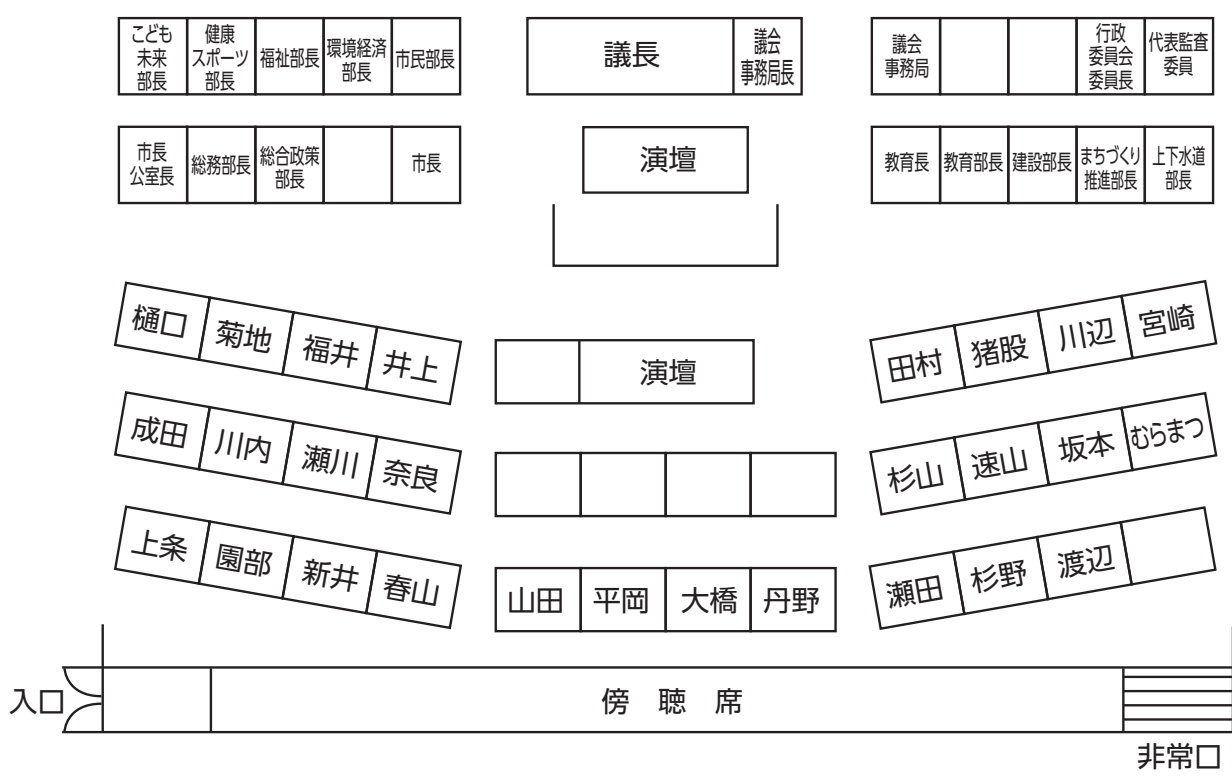
議長・副議長就任あいさつ

市民のみなさまには、日ごろより議会活動につきましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、私たちは、議長並びに副議長の要職を担うことになりました。まことに身に余る光栄でありますと同時に、その責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

市議会といたしましても、全議員一丸となって努力してまいりますので、皆さまの一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

議場配置図



組合議会議員

久喜宮代衛生組合議会

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 猪股 和雄 | 福井 奈穂美 | むらまつ 健太 |
| 杉山 鎮夫 | 成田 ルミ子 | 杉野 修 |
| 大橋 きよみ | 新井 兼 | 園部 茂雄 |

広域利根斎場組合議会

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 猪股 和雄 | 樋口 智洋 | 坂本 和久 |
| 川内 鴻輝 | 平岡 りえ | 春山 千明 |

埼玉東部消防組合議会

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 川辺 美信 | 丹野 郁夫 | 上条 あきひろ |
|-------|-------|---------|

利根川栗橋流域水防事務組合議会

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 田村 栄子 | 菊地 雅典 | 速山 武士 |
| 奈良 政宏 | 瀬川 泰祐 | 山田 正義 |

久喜市議会の 委員会を紹介します

久喜市議会では、本会議よりもさらに細かく質疑や提案を行う、「委員会」を設置しています。委員会では、所管事務調査などを通じて、各委員会の担当分野についての現地調査や、担当課からヒアリングを行っています。

◎は委員長、○は副委員長

総務常任委員会



後列左から 園部 茂雄、杉野 修、上条 あきひろ、坂本 和久
前列左から ○大橋 きよみ、◎奈良 政宏、田村 栄子

当委員会では、市の行財政運営の要となる重要事項を審査しています。主な所管は総合政策部、総務部、市民部、各行政委員会など多岐にわたります。予算・決算の審査をはじめ、市の総合計画や税に関すること、防災・安全対策、DX推進など、市民の暮らしと行政の基盤を支える政策を専門的に調査・審議しています。

委員長 奈良 政宏

福祉健康常任委員会



後列左から 樋口 智洋、福井 奈穂美、平岡 りえ、むらまつ 健太
前列左から ○渡辺 昌代、◎川辺 美信、宮崎 あき

当委員会では、社会福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、健康スポーツ、国民健康保険、介護保険、母子保健など、こどもから高齢者までの暮らしを支える重要な分野を所管しています。現場の声を丁寧に把握し、課題を明確化したうえで、多様な生活ニーズに寄り添った、より暮らしやすい施策の検討を進めています。

委員長 川辺 美信

建設上下水道常任委員会



後列左から 川内 鴻輝、杉山 鎮夫、瀬田 博文
前列左から ○瀬川 泰祐、◎成田 ルミ子、丹野 郁夫

当委員会では、道路、橋梁、公園、河川、上下水道など、市民生活に欠かせない都市基盤に関する事項を所管しています。安全・安心な暮らしを支えるため、インフラの維持管理や計画的な整備、防災・減災対策について審査・調査を行い、市民の皆様信頼される、「暮らしやすいまちづくり」に向け、委員一丸となって取り組んでまいります。

委員長 成田 ルミ子

教育環境常任委員会



後列左から 菊地 雅典、速山 武士、猪股 和雄
前列左から ○山田 正義、◎新井 兼、井上 忠昭

当委員会では、学校教育、教育施設、学校統廃合、学校給食、生涯学習、人権教育、文化振興、文化財保護、環境、ごみ処理施設整備、農業振興、商工業の振興、観光事業など多岐に渡る内容を所管しています。

市民生活に密着したテーマを審議し、現場視察や意見聴取を重ねながら、久喜市のさらなる発展に取り組んでまいります。

委員長 新井 兼

その他の委員会

予算決算常任委員会

◎瀬川 泰祐 ○樋口 智洋
※議長・監査委員を除く全議員が所属

議会運営委員会

◎園部 茂雄 ○丹野 郁夫 川辺 美信
速山 武士 渡辺 昌代 新井 兼
上条 あきひろ

広報委員会

◎川辺 美信 ○奈良 政宏 ○杉野 修
福井 奈穂美 菊地 雅典 むらまつ健太
杉山 鎮夫 平岡 りえ

ICT推進委員会

◎新井 兼 ○瀬川 泰祐 猪股 和雄
井上 忠昭 速山 武士 渡辺 昌代
山田 正義 園部 茂雄

図書委員会

◎樋口 智洋 ○渡辺 昌代 田村 栄子
坂本 和久 平岡 りえ

新市長に問う！ 代表質問

6月8日の6月定例会議初日に、貴志新市長から選挙公約に掲げた基本的な政策が述べられました。

所信表明（要約）

私のまちづくりの理念は「こどもたちが大きくなったときに帰ってきたくなるまち、久喜」です。その実現に向け、「安全」「便利」「快適」の三本柱で政策を進めます。

一方で、本市の財政状況は厳しく、市債残高は令和8年度末に過去最高となる見込みであり、建設費の高騰などにより将来負担が増大しています。

こうした現実を直視し、将来世代に負債を残さない財政運営に取り組みます。市民の安心を守る防犯対策、企業誘致による財源確保、子育て・教育環境の充実、公共交通の利便性向上、透明で開かれた市政、そして無駄を省く行財政改革を進め、魅力ある久喜市を市民の皆様とともにつくってまいります。



この所信表明を受けて、6月18日(木)には、今後の市政運営について各会派代表者からの代表質問が行われました。

● ● 会派紹介 ● ●

久喜市議会では、現在5つの会派が結成されています。

会派とは、理念や政策をともにする議員の団体で、近い考えや意見を持った議員が議会内での活動をともにするため、会派を作り、議会活動をしています。

※○は会派代表

久喜みらいの会

上条 あきひろ 議員



改革の実効性、 そして将来負担の抑制を求める

Q 市長には、これまで積み上げてきた市民や議会との合意を尊重し、地に足の着いた改革を求めたい。市長の市政運営の判断基準は何か。

A 過去の合理的な投資は評価しつつも、将来世代に過度な負担を先送りしないために、令和9年度予算を前に全事業を総点検する。不要不急の事業は廃止し、真に市民の暮らしに近い施策へ予算を割いていきたい。

Q 本庁舎増築棟撤回により、将来の更新コスト増大や、分散庁舎による防災機能低下のリスクはないか。市民への丁寧な説明と代替案の提示を求める。

A DXで「行かなくてよい市役所」を構築するとともにペーパーレス化を推進し、業務スペースを確保したい。ただし、各地区の行政センター機能は維持し、市民の利便性は確保する。

Q AIデータセンター誘致による自主財源確保やスマート農業支援の効果は。

A データセンター誘致は年10億円の税収を目指し民間と連携を目指す。スマート農業は支援を拡大し稼げる農業を後押ししたい。

【要望】 これまで積み上げた合意形成を尊重しながら、空理空論に終わらぬ実行を求める。

久喜みらいの会

新人2名を含む11名で、市内全域から選出されている会派です。全常任委員会で専門性を生かした審議を行い、現場主義による政策提言と是々非々の姿勢で、市民の声を市政に確実につなげます。

■所属議員

○上条 あきひろ、園部 茂雄、成田 ルミ子、新井 兼、瀬川 泰祐、樋口 智洋、奈良 政宏、春山 千明、川内 鴻輝、菊地 雅典、福井 奈穂美

公明くき

丹野 郁夫 議員



財政健全化も大事だが、 明日枯れる花にも水を

Q 本庁舎増築棟の白紙撤回以外のアセットマネジメント政策が不明。公共施設個別施設計画や学校の統廃合、総合運動公園整備の方針は。

A 本庁舎に関連し、個別施設計画は大幅に見直す方針。児童数が減少する菖蒲地区小学校の再編を最優先に取り組む。総合運動公園は諸々の課題や市の財政状況を踏まえ内容を判断する。

Q 対面を必要としない行政手続きを進めるのも大いに結構だが、対面での対応や相談を望む市民を取り残してはならない。市長の考えは。

A 質の高い接遇を実践し、接点を増やすため「出張型」地域包括支援センターを拡充する。

Q 中東情勢の長期化により市民の生活は疲弊している。市長は市民の物価高対策に備えよ。

A 国の重点支援地方交付金を基に、住宅等防犯対策補助や省エネ家電買換え促進を検討中。

Q 公共交通事業は福祉的観点から検討すべき最重要な施策。庁舎や行政センター、クリーンセンターを繋ぐ交通網が必須。市長方針は。

A 鉄道駅や拠点バス停などの交通結節点を一体的に機能させ、目的別ニーズへの対応や利用促進に繋がる公共交通システムの実現を目指す。

Q 市長の考える福祉政策の位置付けは。

A 最重要施策の一つと認識し充実に努める。

市民の政治を進める会

猪股 和雄 議員



道路や公共施設の維持管理 最優先に進めるべき

Q これまで道路等を含めた公共施設の維持管理予算が削減され、破損・故障や点検で指摘事項があっても早急な補修がなされないできた。今後は必要な予算を確保して、不具合等があれば直ちに補修する方針を表明していただきたい。

A 市民が安心安全に施設を利用できるよう、必要な予算を確保して、予防保全の考え方に立って迅速かつ適切に維持管理を進めていく。

Q 障害者が地域で生きていくために、①現在の障害者施設を市で運営していく方針の継続を、②精神障害者の施設整備が必要だが対応方針は、③市の障害者雇用の推進を求める。

A ①引き続き指定管理者による運営を継続する、②精神障害者の活動場所は運営者の意向を聞いて希望に合う物件を探していく、③社会参加の促進のため障害者雇用を推進していく。

Q 災害時に一般の避難所と同時に開設する福祉避難所は、各地区に最低1か所は必要であるが。

A 先行して開設する福祉避難所は、現在の2か所から、今年度中に3か所目の指定を目指していく。職員配置計画も定めていきたい。

その他の質問 ◇市役所新築方針の廃止◇街路樹管理方針◇子どもの居場所確保◇小学校体育館のエアコン設置計画◇公共交通の拡充、など

公明くき

公明くきは、女性2名、男性2名の多様性と協調性を重んじる4名構成です。地域課題や全世代の課題解決そして市政の発展を願い、日々市民の意見に耳を傾け、会派内の熟議を経て「提案型」姿勢で議会に臨んでいます。

■所属議員

○丹野 郁夫、大橋 きよみ、山田 正義、平岡 りえ

市民の政治を進める会

私たちは政党政派の枠を超えて、市民感覚に基づいた一人ひとりの問題意識と自由な意思を尊重し、『そのすべての責任を自分自身で負い、協働して久喜市政の発展と議会の活性化に向けて行動』します。

■所属議員

○猪股 和雄、川辺 美信、田村 栄子

政策会議

坂本 和久 議員

誰もが安心して暮らせる
まちづくりの実現を

■ 新たに設置する防犯カメラの運用は。

■ 警察や学校等の意見を伺いながら通学路や幹線道路等への整備を進める。

■ A Iデータセンターの誘致について。

■ 市街化調整区域への立地を想定して事業者と協議を進めている。固定資産税の増収や地域経済の活性化につながると確信している。

■ 農業の課題解消と6次産業化の推進を。

■ 農地の集積を進めるほか、農産物のブランド化等により農業者の所得向上につなげる。

■ 利便性の高い公共交通の構築を。

■ 新たなコミュニティバスの実証運行と移動ニーズを捉え、持続可能な公共交通の検証を行う。

■ 新たに早期開設する福祉避難所は十分な配慮を。

■ 高齢者、障がい者などそれぞれの特性に応じた対応を行うが、拠点避難所と併せてまずは迅速な避難をお願いしたい。

■ 「週刊久喜市ニュース」の運用方針は。

■ 市政やイベント等の理解・関心を高め、データを分析して配信効果の最大化に努める。

■ 事務のDX化とペーパーレス化の考えは。

■ 文書管理を電子化し紙書類や保管庫等を削減する。

日本共産党久喜市議団

杉野 修 議員

物価高騰などから
市民の暮らしを守る市政に

■ データセンターの誘致推進は温室効果ガスの排出や、水資源の大量消費、大気汚染など環境負荷の軽減が必要。課題に慎重に対応を。

■ 環境悪化の懸念は聞いている。計画地近隣の方からの声に耳を傾けていく。

■ 物価高騰から市民の暮らしを守るために相談窓口設置と緊急に調査と支援策を求める。

■ 国や埼玉県が窓口を設置し、状況を把握しているので市は設置しないが、国からの交付金を最大限に活用して物価高騰対策支援を行う。

■ 義務教育期間のすべての児童生徒は、公立と同様に学校給食費の無償化を求める。

■ 県立特別支援学校の中等部生徒には、特性に応じた配慮が必要。就学の事情を踏まえると負担に関する差を生じさせるべきではないので学校給食費の支援の実施に向けて取り組む。

■ 循環バス、デマンド交通を中心に公共交通は各地域公平に利便性向上になるよう求める。

■ 久喜市が運行する公共交通については、将来にわたって持続可能な公共交通を確保していく。余熱利用施設へのアクセスについては、2つのコミュニティバスルートを施設まで延伸させ、タクシーやデマンド交通の乗降場を設置する。

政策会議

政策会議は坂本和久（国民民主党）、速山武士（同）、むらまつ健太（無所属）の新人3人により結成された会派です。

政策会議は熟議のうえ各自の理念と意思を尊重して是々非々で市政発展と市議会の活性化に努めます。

■ 所属議員

○坂本 和久、速山 武士、むらまつ 健太

日本共産党久喜市議団

こんにちは。私たちはいつも「市民が主人公の久喜市政」をめざしています。議会でも市民のみなさんからいただいたご要望の実現に全力を注いでいます。今は、平和憲法を暮らしに生かそうと考えがんばっています。

■ 所属議員

○杉野 修、渡辺 昌代

■ 会派に属さない議員：宮崎 あき、井上 忠昭、杉山 鎮夫、瀬田 博文

忙しいあなたに贈る！ ほぼ3分でわかる 6月定例会議 ダイジェスト

6月8日から
7月8日まで

議案第8号 令和8年度一般会計補正予算(第2号)

2億1282万円



- ・防犯カメラの設置で安心のまちづくり 593万円
安全なまちづくりを推進するため、警察署から要望のあった市内10カ所(菖蒲地区4カ所、栗橋駅東口付近・西口付近に各3カ所)に防犯カメラを設置する。
- ・小学校体育館のエアコン設置と断熱化 4620万円
市内全小学校体育館の空調設備設置、断熱化工事に係る設計を行う。工事は2グループに分け、1グループは令和9年8月～令和10年8月頃、2グループは令和10年8月～令和10年11月頃を予定。

議案第9号 介護保険特別会計補正予算(第1号)



- ・介護保険システム改修業務委託料 534万円
報酬改定は、介護職員すべての人が対象で平均月額7000円の上乗せとなる。一方で、特別養護老人ホーム利用者の食費が日額30円～60円、居住費が日額100円の引き上げとなる。

議案第16号 事業変更契約の締結について



- ・余熱利用施設及び(仮称)本多静六記念市民の森・緑の公園一体整備運営事業(変更契約による増額分) 5億9730万円

【議案質疑から(一部)】

- Q 物価上昇分の官民負担を再協議したか。
- A 計画時にコストを精査しており、再協議は難しい仕組みになっている。

議案第17号 令和8年度一般会計補正予算(第3号)

1億7260万円



- ・住宅等防犯対策補助事業 2830万円
個人住宅向けの防犯機器等の設置費用を補助する。
- ・省エネ家電買換え促進事業 2716万円
省エネルギー性能の高いエアコンまたは冷蔵庫への買換え費用を補助する。

上記以外の主要議案



- ・税条例の一部を改正する条例
- ・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例
- ・PTA連合会解散に伴う関係条例の整理に関する条例
- ・久喜宮代衛生組合の共同処理事務の変更及び組合規約変更

一般質問 25人が登壇
議案：市長提出11件
議員提出1件
議案質疑：
11議案に延べ19人
討論：6議案に延べ9人



令和8年5月招集会議・6月定例会議 提出議案とその結果

○…賛成 ×…反対 ▲…除斥 △…欠席 ※議長は採決に加わらないため「-」で表示

付託委員会 (総)…総務常任委員会 (福)…福祉健康常任委員会 (建)…建設上下水道常任委員会 (教)…教育環境常任委員会 (予)…予算決算常任委員会

会 議	提出 区分	議案 番号	議案の内容	久喜みらいの会										公明くき		市民の政治を 進める会		政策会議		日本共産党 久喜市議員団		無会派			結果					
				福井奈穂美	菊地雅典	樋口智洋	奈良政宏	瀬川泰祐	川内 鴻輝	成田ルミ子	春山 千明	新井 兼	園部 茂雄	上条あきひろ	丹野 郁夫	大橋きよみ	平岡 りえ	山田 正義	川辺 美信	猪股 和雄	田村 栄子	むらまつ健太	坂本 和久	速山 武士		渡辺 昌代	杉野 修	宮崎 あき	井上 忠昭	杉山 鎮夫
5月招集会議	市長	1号	教育委員会委員の任命 しげやかつみ 渋谷克美氏	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
		2号	監査委員の選任 かみじょうあきひろ 上 條 哲弘氏	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
		3号	監査委員の選任 わたなべ まゆみ 渡辺真弓氏	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
		4号	公平委員会委員 えんどうひであき 遠藤秀明氏	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
		5号	公平委員会委員 なかむら み えこ 中村美恵子氏	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
		6号	公平委員会委員 よしだ よしお 吉田吉雄氏	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
		7号	固定資産評価員 かど い まさかず 門井雅和氏	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
6月定例会議	市長	議員提出1号	議会運営委員会の定数を8人から7人に変更する条例の改正	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		8号	令和8年度一般会計補正予算(第2号)防犯カメラの設置・小学校体育館エアコン設置他(予)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		9号	令和8年度介護保険特別会計補正予算(第1号)介護保険システム改修(福)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
		10号	市民税・固定資産税等の税制改正に伴う条例改正(総)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		11号	満3歳以上の小規模保育創設など基準改正に伴う条例改正(福)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
		12号	満3歳以上小規模保育の定員設定等に関する基準改正(福)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
		13号	PTA連合会解散に伴う審議会委員等の選出を保護者へ変更(教)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		14号	グリーンセンター稼働に伴う衛生組合規約の変更(教)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		15号	市道損傷による車両破損事故の損害賠償額の決定(建)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		16号	物価高騰に伴う余熱利用施設等の契約額の増額(教)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	可決
		17号	令和8年度一般会計補正予算(第3号)防犯対策購入費補助事業・省エネ家電買換え補助事業 他	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		18号	令和8年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
	議員	意見1号	殺傷武器の輸出規制撤廃に反対する意見書	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	否決

議案に対する討論

8号 令和8年度一般会計補正予算(第2号)

【賛成】防犯カメラ設置には県との費用負担の協議や設置場所の現地確認等の課題はあるが、市民の安全確保と、全小学校体育館への空調整備による子どもの命・健康と避難所環境の向上を評価し、本補正予算に賛成する。(山田議員)

9号 令和8年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

【反対】介護職員の処遇改善は必須であり、国の予算として制度外で行うべきとして指摘してきた。今回処遇改善はされるが、一方で補足給付の食費と居住費が一部値上げとなり、58,400円もの負担増の方も出る。見直すべきだ。(渡辺議員)

11号 満3歳以上の小規模保育創設など基準改正に伴う条例改正

【反対】特定理学療法士等を保育士のみなし配置の一人とする改正だ。発達支援の専門職が連携するのは良い事だが、専門職として採用があるべきだ。保育士不足の構造

的解決でなく、配置基準の人数合わせの改正は賛成できない。(渡辺議員)

16号 物価高騰に伴う余熱利用施設等の契約額の増額

【反対】当初契約の整備費約130億円から6億円を増額する契約変更である。もともと豪華すぎる過大な施設であり、工事の追加や内容変更もないのに、物価高騰だけを理由として契約金額を増額するのは市民の理解は得られない。(猪股議員)

【反対】物価高騰は避けられないが、130億円もの高額事業だからこそ約6億円の増額に繋がった。隣に約25億円のにぎわい機能がある中、重複する過大な投資は不要。これ以上の財政負担は市民の理解を得られないと考える。(宮崎議員)

【反対】余熱利用施設などの事業契約額が物価高騰を理由に約6億円もの増額になるという。しかし物価スライド制によるリスク協議もなく増額ありきはだめだ。今後はPFI事業でも事業者とリスク分担について協議すべきだ。(杉野議員)

18号 令和8年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

【反対】久喜市の国保の保険税は4年連続して引き上げで、その幅は40.9%だ。高額療養費の引き上げになれば医療にかかることも負担増だ。国保の構造的問題を解決して、国の負担率をあげれば、システム改修は必要がない。(渡辺議員)

意見1号 殺傷武器の輸出規制撤廃に反対する意見書

【反対】防衛装備品の海外移転には、現在も防衛装備移転三原則に基づく審査と、外国為替及び外国貿易法に基づく経済産業大臣の許可が必要である。全ての規制がなくなったわけではなく、「規制撤廃」とする意見書には賛同できない。(成田議員)

【賛成】日本製の武器が他国の戦争で人を殺傷する事態が現実となったとき、はたして平和国家日本と言えるのか。日本が死の商人とみなされるような事態は、絶対に避けなければならない。武器の輸出解禁は直ちに撤回すべきだ。(川辺議員)



一般質問 皆さんの声を議会へ!



4日間で25名が登壇

紙面の都合で一般質問は要約を掲載しています。記事は600字または660字(写真の枚数によって異なる)以内で質問した議員本人がまとめています。

議会をネットで見よう!

本会議・一般質問をインターネットで、ライブ及び録画配信しています。

久喜市議会 中継

検索



QRコードを読み取ると議会中継にいけます!

QRコードから録画映像へGO!



掲載記事の議員写真横にあるQRコードから録画映像を是非ご視聴ください。

本庁舎の整備方針転換について撤回を求める

A 将来負担増により方針転換を判断した

園部 茂雄 議員

久喜みらいの会



Q 市役所本庁舎は1980年竣工から46年が経過し、耐震化は完了しているものの、上下水道管・電気配線・空調など内部インフラの老朽化が進んでいる。バリアフリー対応や災害対策本部機能、DX推進に必要な設備も十分とは言えない。国の合併推進債を活用すれば、元利償還の約半分が交付税措置され、市民負担を抑えて整備できる好機だが、市長はこの制度を用いず整備方針を転換している。本庁舎の老朽化をどう認識しているか。

A 耐震性は確保されているが、給排水設備などは更新が必要。バリアフリーに一部課題はあるものの、災害対策本部機能や市民サービスは現状で対応可能。

Q 合併推進債を活用しない理由は。

A 計画変更や議決、市民参加など多くの要件が必要で、他の大型事業で市債残高が増える中、追加の起債は将来負担を増やすため適切でないと判断。

Q 整備を先送りすると建設費が増えるのでは。

A 物価高騰は認識しているが、将来の経済情勢は不確実で、現時点で多額の整備を行うことは財政リスクが高い。

Q 市民への説明方法は。

A ミニタウンミーティング等で財政状況や公共施設更新費、整備方針の背景を丁寧に説明する。

Q 整備方針を再検討するか。

A 老朽化対策を行えば30年程度使用可能と見込んでおり、再検討は行わない。

その他の質問

◇防犯対策補助制度の拡充について



市役所本庁舎

公共交通の実証運行と 住民ニーズに対応すべき

田村 栄子 議員

市民の政治を進める会



Q 久喜市の公共交通バスは栗橋・鷲宮にも路線拡大予定で、運行実験とも言える実証運行が令和9年に行われる。時間帯とバス停箇所を問う。

A 時間帯は7時～9時と15時～19時。バス停は南栗橋駅、イオンスタイル南栗橋、南栗橋スポーツ広場、南栗橋12丁目、同11丁目、香取神社稲荷大明神前、東鷲宮病院、東鷲宮駅の8カ所を予定。

Q 高齢者等日中の在宅者ニーズに対応した運行が実証運行に配慮されていない。その理由は何か。

A 今回は実証運行のため、利用人数が見込める地域と時間帯を設定した。デマンド交通やふれあいタクシー等も交通手段として選択してほしい。



実証運行計画案

Q 利便増進実施計画の国の認可は下りたのか。

A 公共交通会議の承認は得た。しかし国の認可は申請中で回答待ちである。

栗橋中央コミセンの老朽化と代替施設整備は

Q 当コミセンは安全面で危惧される。安全性の評価結果は。建物が傷んだ時はどう対応するか。

A 耐震診断で安全性が基準以下となっている。不具合が出た際に改修を検討する。

Q 代替施設利用を勧めているが、不足対策として市はプレハブ設置を言明した。どこまで進んだか。

A プレハブについては一旦見直し、他も含めて総合的に検討中である。

栗橋のしずか館跡地の計画は

Q しずか館跡地の活用計画は如何か。

A 民間の商業施設と集合住宅を合わせて、その中に行政センターを設け一体で複合拠点施設として整備し、民間のノウハウ、資金力を活かす構想をもっている。

市役所増築棟計画の白紙撤回後を伺う

A 庁内外の意見を伺い改定案を提案する

杉野 修 議員

日本共産党久喜市議団



Q 現計画は増築棟に全行政機能を集約させ、現市役所は「保健・子育て複合施設」に転用としている。それを白紙撤回することは増築棟の新築をはじめ、関連する集約、転用のすべてが白紙になるということか。

A 個別施設計画において予定されていた本庁舎機能の集約施設や、現庁舎への移転が計画されていた保健センター及び子育て支援施設などの関連施設については、その方向性を見直す必要があると考えている。

見直しに当たっては、アセットマネジメント推進本部や、公募市民も加わる個別施設



市役所本庁舎

計画検討委員会などに諮るとともに市民の皆様の意見を伺う。

Q 見直しの完了時期、新計画の公表時期はいつ頃を目途とするのか。

A 内容が多岐にわたるため、現段階では示せないが、改定案として整った時点で議会に議案として上程する。

要望 大きな箱もの事業が連続した計画のため借金頼みの財政になった。無理のない資金計画を。

本町5丁目の車両通行時の家屋の揺れ改善を

Q 地元住民から「数年前に工事をしたころから、バスなど大型車が通過すると家屋が揺れるようになった。なんとかならないか。市にはお願いしたが対応してくれない」とのこと。市は誠意をみせるべきではないか。まずは調査を求める。

A すぐに沿線の方立会いの下、車両通行時の家屋の振動状況を確認した。さらに詳しく揺れと道路の劣化状況の関係を調べる。

本町小と久喜北小の統廃合審議の再開を

A 本年度中に審議会を開催する

成田 ルミ子 議員

Q 本町小学校と久喜北小学校の統廃合の進捗状況は。

A 本年度中に学区等審議会を再開し、統廃合の適否やあり方を協議。最短で来年度答申を出す。

Q 新校舎建設の考え方に変わりはないか。

A 令和5年3月の学区等審議会答申では新校の位置は本町小学校とし、学校統合にあたり新校舎建設を視野に入れることが望ましいとされた。この答申を前提に今後の検討を進める。

Q 本町小のトイレ洋式化について改善を図るか。

A 今年度は照明のLED化を予定。トイレの洋式化が課題と認識しており、統廃合まで相当の期間を要するため必要な施設の改修を進める。

ペーパーレス化で本庁舎の狭隘化は解決するのか

Q 市長は狭隘^{きょうあい}解消のための市役所増築棟建設を白紙撤回し、デジタル化やテレワーク、サテライトオフィスなどで改善を図る考えを示したが、それは業務改善化であり狭隘化の解消になるのか。

久喜みらいの会

A ペーパーレス化でキャビネットを削減し会議室3部屋分のスペースが確保できると試算する。

Q 本庁舎1階のトイレは2カ所と多目的が1カ所、女子トイレは洋式便座が3器、和式が1器である。昼休みの休憩に使用するスペースもない。職員の働きやすさのために何ができるか。

A 現場を確認して執務環境の改善を検討する。

Q 合併推進債を使う考えはないのか。

A 現時点では本庁舎増築棟建設は行わず、合併推進債を活用する考えもない。

〔要望〕 狭隘化解消に併せ、担当部署が分散する現状の改善のため増築による機能集約を。



狭い本庁舎の執務室

中核的スポーツ拠点として 計画通り整備を目指すべき

川内 鴻輝 議員

Q 総合運動公園の整備計画は、現在どこまで進んでいるのか。

A スケートボード場、3×3バスケットボール場、陸上競技場、人工芝サッカー場などについて、一部建物を除き令和6年12月に実施設計は完了している。ただし、隣接地の土砂・廃棄物撤去の影響により、整備スケジュールは遅れている。

Q 令和5年3月に改定された基本計画は、現在も有効な行政計画なのか。

A 計画自体を変更すると正式に発表した事実はない。ただし、土砂撤去の状況や財政状況を踏まえ、今後判断していく。

Q 4施設を整備する基本方針は維持されているのか。

A 計画が活着していることは事実。一方で、物価高騰や財政状況を踏まえ、各施設の在り方は総合的に検討していく。

Q 市民との合意形成を経て実施設計まで進んだ

久喜みらいの会

計画であり、中核的なスポーツ拠点として整備を目指すべきではないか。

A 造らない、造りたくないということではない。スポーツの大切さや市民の期待は十分理解しており、どのような形であれば施設を造れるのか検討していく。

Q 市民の不安を払拭するため、早期に方針やロードマップを示すべきではないか。

A 土砂撤去のスケジュールを見守り、関係部署と情報共有しながら進める。ただし、今年度中にスケジュールを示す約束は難しい。

その他の質問 ◇久喜マラソン大会の発展について



現在の久喜市総合運動公園基本計画

栗橋駅西口エリアの 公園整備予定地の計画と現状は

菊地 雅典 議員

Q 伊坂中央2丁目地内の公園整備（2カ所）の進捗状況を伺う。

A できる限り早期に事業に着手できるよう、スーパーマーケット北側の街区公園から着手し、その後、加須市に隣接する近隣公園の整備を行う。まずは街区公園の測量、立木の調査や実態を踏まえて地元と協議を行い、その上で設計、工事といった手順で考えている。

Q 早期着手とはいつ頃を検討しているか。

A 今は予算がついてない状況で、なるべく早く、どのような検討ができるかも考え進めていく。

道路の路面標示、標識の維持管理の基準は

Q 視認性が著しく低下している箇所の補修の基準や今後の計画を伺う。

A 緊急性や危険性の高い箇所から優先的に修繕を行うと共に、市街化区域の通学区域は令和4年度より計画的に補修を行っている。今年度は東鷲

久喜みらいの会

宮小学校及び桜田小学校の通学区域で実施していく。

市道栗橋122号線の香取踏切の拡幅を

Q 栗橋B & G海洋センター前の当該踏切は中学校の通学路に指定されているが、踏切内が非常に狭く、車両との接触事故のリスクが高い。通学路の安全性について市の見解と今後の対応は。

A 踏切拡幅は現実的に難しい状況である。現状幅員での安全性についてJ Rと協議していく。踏切内にベンガラ舗装が実施できないか検討し、学校は子どもたちに安全指導の徹底をする。必要に応じて通学路の見直しも検討し安全確保に努める。



香取踏切

妊産婦・乳幼児家庭向け専用避難所の設置を

A 担当部局と情報を共有し協議していく

大橋 きよみ 議員

Q 一般避難所では母子世帯特有の課題が大きく、避難をためらう要因になる。妊産婦・乳幼児家庭が安心して避難できる専用避難所の設置をすべき。

A 災害時に妊産婦や乳幼児を抱える家庭の方が、安心して生活する環境を確保することは大切である。専用避難所の設置には利点もあるが、様々な課題もある。今後関係部局と協議し検討していく。

読書バリアフリーの推進とりんごの棚

Q りんごの棚^{*}は、障がいのある子どもだけでなく、全ての子どもたちが利用できるインクルーシブな読書空間として全国に広がっている。読書バリアフリー法の理念を地域で具体化するため、市立図書館・学校図書館にりんごの棚を設置すべき。

A 各市立図書館で、りんごの



りんごの棚

公明くき

棚の設置に取り組む。各学校図書館については、りんごの棚の概念を理解することが重要であるため校長会で周知する。

新たな肺炎球菌ワクチン接種に市独自の助成を

Q 肺炎は高齢者の主要な死亡原因の一つであり、特に75歳以上は重症化リスクが高いことから、肺炎予防対策は重要である。令和8年度から開始された20価肺炎球菌結合型ワクチンは、免疫の持続性や予防効果に優れていることから、未接種者や昨年までの接種者に市独自助成を実施すべきでは。

A 国は令和7年8月に薬事承認された21価肺炎球菌結合型ワクチンの定期接種化を検討する際に、改めて65歳を超える方の経過措置を検討する考えを示している。今後の動向を注視していく。

その他の質問 ◇久喜特別支援学校体育館の空調整備推進◇HPVワクチン個別通知◇菖蒲町台地域の用水路転落防止柵設置◇南1丁目ベンガラ舗装整備



りんごの棚

…特別な配慮を必要とする子どもを対象とした本のコーナーのこと。点字や大きな文字の本、布絵本などさまざまな形式の本が集められている。1993年にスウェーデンの図書館で始まり、世界各地に広がっている。

いまこそ栗橋地区の治水ビジョンを示すべき



瀬川 泰祐 議員

久喜みらいの会

Q 台風6号では総雨量93mmと想定内の降雨だったにもかかわらず、中川へつながる複数の排水路は限界近くまで増水し、調整池にも水が流入した。気候変動を踏まえると、調整池の必要性は以前より高まっているのでは。

A 必要性は高まっていると認識している。

Q 32年前に計画された東田調整池の整備が先送りされているが、必要性をどう認識しているのか。また、いつどのように進める考えなのか。

A 必要性は認識している。現在、国が中川流域で進めている排水機場整備の規模や効果を踏まえ、時期や必要な規模を改めて検討していく。

Q 栗橋地区全体の治水対策としては、東田調整池だけでは決して



栗橋第2雨水幹線から水が溢れる様子

十分ではない。校庭貯留や田んぼダムなども組み合わせるべきでは。

A 近年は豪雨の激甚化や都市化により、従来の排水能力を超える状況が発生している。流域全体で進めていきたいと考えている。

気候変動に対応した植栽管理へ見直すべき

Q 市民アンケートでは「道路や公園の緑の手入れ不足」が不満第1位である。気候変動を踏まえ、管理頻度や重点管理区域の設定など、維持管理のあり方を見直すべきでは。

A 近年の管理需要の増加を踏まえ、除草や街路樹の剪定回数を増やすことを検討する。また、道路愛護や里親制度、企業との連携を進めながら、適正な維持管理に努める。



大きく成長し、視界を狭くする街路樹

高齢者に補聴器購入費用の一部助成を



平岡 りえ 議員

公明くき

Q 加齢による難聴は、高齢者のコミュニケーション機会の減少を招き、社会的孤立や認知機能の低下、さらにはフレイルの進行に繋がるのが指摘されている。補聴器は数万円から数十万円と高額で、必要と感じながらも購入をためらう方もいる。先進自治体の事例を基に補聴器購入費用助成を検討してはいかがか。

A 県内他市の状況を見ると、補助を実施する自治体が増えてきていることを認識している。本来であればこのような仕組みは国での一律検討が望ましいが、一方で補助を実施する自治体が増えてくると久喜市として今後検討すべきか、ここである程度整理していく必要があると考えている。



乳がん早期発見の取り組みについて

Q 現在実施しているマンモグラフィ検査に加え、超音波エコー検査を導入する考えはあるか。高濃度乳房*の場合、マンモグラフィのみでは発見しにくいケースがある。先進事例を研究し導入を検討してはいかがか。

A 国が検査の併用法について研究を行っている。研究の結果、死亡率減少効果が確認されるなど科学的根拠に基づき、国が推奨する検査として指針に明記された際に検討したいと考えている。

Q 男性乳がんの啓発も行うべき。

A 男性についても、市ホームページを通じて啓発に努める。

その他の質問 ◇クリーンセンター及び余熱利用施設における医療的ケア児・者及び障がい児・者への配慮について◇学校の熱中症対策について（冷水機の設置、給食配膳室の環境改善）

住宅等防犯対策補助金の再開は

A 国の重点支援地方交付金を活用して実施

山田 正義 議員

公明くき



Q 本年3月から9月までの予定で実施された住宅等防犯対策補助金は、約10日間で上限に達し、事業が止まっている。再開をするべきだが。

A 補助金の申請方法や制度内容を再度検討した上で、令和8年度も国の重点支援地方交付金を活用して実施したいと考えている。

Q 今後、一過性ではなく継続的な防犯の施策として位置付けるといえる考えはあるか。

A 市民の防犯への意識の高まりから、継続的にやるべきものと認識している。財源や他の施策との関係から検討していきたい。

Q 前回、補助を受けられなかった市民に対しても救済措置を講ずるべきと考えるがどうか。

A 補助が受けられなかった市民に救済措置はないが令和8年度分の実施時に違う物を購入し補助を受けるとい事でご理解いただきたい。

Q 児童生徒などへの不審な声がけの対応策として、防犯ブザーも補助金の対象にしてはどうか。

A 当該補助金は、住宅への防犯機器の設置を促進することを目的としており、児童生徒の防犯ブザーを補助対象に追加することは考えていない。

Q 児童生徒でなくても、高齢者や女性の安全確保という意味では非常に重要ではないか。継続的な防犯施策としての検討も含めて新市長に伺う。

A **市長** 何かを加えると、他の応募に対して影響がある。今回は住宅等ということで整理したい。また、継続的な施策については、財源があれば是非やりたいが、この場では約束はできない。

その他の質問 ◇シニアの生きがい・やりがい向上◇オープンガーデンの活性化◇道路水路等の整備



住宅等防犯対策補助金チラシ

障がい者通所施設等における給食費助成を

坂本 和久 議員

政策会議



Q 食材費の高騰により、障がい者通所施設等で給食費の負担が増加している。障がいがある方の生活を支えるためにも給食費の助成を求める。

A 障がい者通所施設における食事は給付の対象外。市独自の補助は考えていない。

Q 食材費の高騰は利用者だけではなく、施設も悩んでいる。取り組みの意義は大きいと思う。

A **市長** 市全体の総合的な視点が必要である。ご意見を踏まえて検討してまいりたい。



障がい者施設 久喜市けやきの木

青葉地域の生活環境について

Q 青葉地域の遊歩道や街路樹、青葉小・久喜東中校庭の砂塵の改善を。

A 遊歩道の側溝蓋は必要に応じて交換しているほか、側溝内の汚泥の除去を行う。樹高の高い木は計画的に剪定を行い、照明灯を遮っているものは速やかに対応する。校庭の砂塵は散水などの適切な維持管理を学校に働きかける。

公共交通の充実を求める

Q デマンド交通は時間帯により予約が困難。現状と対策は。

A 予約が取れなかったのは令和7年度菖蒲地区で30件、栗橋・鷲宮地区で576件。来年度実施するコミュニティバス実証運行の結果を見たい。

Q デマンド交通の車両の増備など公共交通の充実を求める。

A コミュニティバスの実証運行で需要が分散し、予約の取りにくさが改善すると考える。

Q 企業バス等への混乗、フリー乗降制など先進的な実証実験等に参加しては。

A 今後研究したい。

菖蒲地区の未来どうなるのか

福井 奈穂美 議員

公共交通の利便性向上

【Q】 小林・栢間地域では、久喜駅方面へ向かう際に多くの方が路線バスの乗換えをしている。現地調査でも乗換利用者がいることを確認した。久喜駅と桶川駅を結ぶ直通交通の可能性や、桶川駅東口ロータリー整備後を見据えた交通体系の見直しについて市の見解を伺う。



上町バス停

【A】 乗換利用者数は把握していない。

また、久喜駅と桶川駅を結ぶ直通バスについては、需要や採算性などを踏まえ、民間事業者が判断するものと理解している。

16年以上残る仮舗装道路

【Q】 旧菖蒲町時代に整備された仮舗装道路が、合

久喜みらいの会

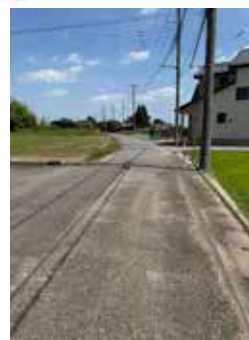
併後16年以上経過した現在も残っている状況について、安全な通行環境の整備を求める。

【A】 現在4路線の仮舗装道路については今後、4年から5年を目安に計画的に本舗装工事を実施していきたい。

地域振興の将来像

【Q】 スマートIC、道の駅、菖蒲南中学校跡地、歴史資源を一体的に活用し、地域住民と将来像を共有しながら地域振興を進める考えについて伺う。

【A】 道の駅については資材高騰や財政負担を踏まえ、施設規模や整備時期を改めて検討する。また、菖蒲南中学校跡地については、学校法人誘致方針から転換し、「地域にとってよりよい活用」を条件に、7月から民間事業者の募集を開始する予定。



市道菖蒲2533号線

災害に強いまちづくりと

子育て支援の拡充を迫る

速山 武士 議員

【Q】 現在の久喜市の水害時の被害想定と受援計画は。水害対策で江戸川区など先進事例の参考は。

【A】 水害は明確な被害想定を出していないが久喜市内全域へ被害が想定される。受援計画はご指摘の通り水害編はなく、地震編を応用し対応する。今後は水害についても明記する。また江戸川区の取組は同じカスリーン台風の被害地域として調査研究していく。

交付金を使用し、非常用電源の導入を

【Q】 充電難民対策として他市でも導入されている非常用電源(BPS)*を導入すべきでは。また国の防災強化交付金等使える交付金を調査し、防災力を高めていくべきではないか。



非常用電源(BPS)

政策会議

【A】 各避難所へ燃料を使った発電機やポータブル電源等を配備し電源の確保に努めている。提案の電源は現時点で導入を考えていないが、提案の交付金も確認し、財源の在り方も含めどのような財政措置が可能なのか、総合的に確保策を検討していく。

赤ちゃん用品の物価高騰へ対策を

【Q】 物価高騰、ホルムズ海峡封鎖で石油原材料高騰に直面し、赤ちゃん物価指数は通常の物価指数の倍の状況である。育児世帯へ紙おむつや粉ミルク等の赤ちゃん用品への補助・対策は。

【A】 独自の祝金等で経済的負担軽減に努めている。他市町村の補助例を確認し、かかる予算も確認した。しかし、本市においては現物支給、金銭支援含め、財源確保等の課題から現時点では難しい。今後、将来への投資に向け財政基盤強化と、市役所のマンパワーの余白をつくれるように取り組む。



貴志新市長の市政方針と姿勢方針を伺う



丹野 郁夫 議員

公明くき

Q 本庁舎増築棟の取り止めの決断は、即ち各行政センターを残すという決断か。

A **市長** 本庁舎は30年間使用可能と見込んでおり、増築棟の廃止に伴い、個別施設計画*の改訂が必要となる。当面は維持する方向だが、リスクを平準化する考えの基で、各行政センターを検討する。

Q 増築棟の取り止めで一時的な財政負担は減少するが、行政センターの維持管理や修繕費用、栗橋駅東口に予定する複合施設建設等を鑑みると長期的にはどちらが良いのか不明。是非は如何に。

A **市長** 短期・長期、両方の視点で判断していく。

Q 鷺宮東コミセンは残す方針か。

A **市長** 前市長の任期中に継続方針となった各施設は、市民の皆さんの意見を尊重していきたい。

Q 公共交通は市民の重大関心事であり、福祉的視点から進めるべき政策である。政治家として市長に問いたい。現在の公共交通にかかる予算を倍

額にして、力強く改革して頂きたいがどうか。

A **市長** 私も市民の皆さんから多くのご意見を伺っており、公共交通の充実が重要課題と考える。予算を増額し、台数や便数の増により解決する課題もあると思うが、まずは南栗橋・東鷺宮間の循環バスの実証運行の動態を見極めてから判断したい。

Q 市長は議員時代、社会的弱者となりやすい方々へ福祉向上を求める発言割合はやや少ない印象がある。あらゆる世代、属性に対して公平公正な市長であっていただきたい。意気込みは。

A **市長** 福祉政策を適切に実施することは重要と考えており、さらなる充実に取り組む。



全ての市民が選挙結果を 容易に確認できるよう改善を

宮崎 あき 議員

無会派



Q 選挙について、投票を促すだけでなく、インターネットを使えない方の「知る権利」を守るため、開票結果の掲示場所・期間を事前に周知し、各投票所の出口にもその案内掲示をすべき。

A 広報くきで事前周知し、各投票所に掲示する。

Q 移動手段の少ない高齢者等の為、電話で結果を確認できる自動音声案内を導入してはどうか。

A 来年4月の県議会議員選挙までに導入を検討。久喜駅西口の自転車ルール遵守を徹底すべき

Q 久喜駅西口ロータリーの歩道は、自転車の乗車通行が禁止されているが、朝夕に多くの自転車が走行し危険。注意喚起の掲示物を改善すべき。



A 掲示物をより目立つよう改善し、イラストの活用や、のぼり旗の設置も検討する。

Q 市長の考えはいかがか。

A **市長** 状況を改善するため、私も近々久喜駅に立ち、状況確認と注意喚起を実行したい。

南栗橋駅周辺のタバコのポイ捨て防止対策を

Q 南栗橋駅東西出口周辺の路上喫煙やポイ捨て防止のため、路面標示や啓発看板を設置すべき。

A 抑止効果が期待できる。早急に対応する。

Q 路上喫煙やポイ捨てを根本的に防止するため、今後の市の対策は。

A **市長** 南栗橋駅と鷺宮駅周辺は、令和9年度当初から「路上喫煙禁止区域」に指定する予定。

集会所のエアコンの適切な管理で電気代削減を

Q 市が管理する集会所のエアコン清掃の徹底を。

A 今後は定期的に確認しフィルター清掃をする。

その他の質問 ◇久喜マラソン大会の情報発信と運営規則の公平性について



個別施設計画

…学校や公民館、福祉施設などの建物を、安全に長く使い続けるために、「いつ修理するか」「いつ建て替えるか」「どれくらいお金がかかるか」をまとめた将来の計画書のこと。

物価高騰対策として水道基本料金の減免を

A 水道事業単体での実施は考えていない

渡辺 昌代 議員

日本共産党久喜市議団



Q 原油の現状から物価高騰と品不足は続く。水道料金の基本料金を減免し市民生活を守るべき。

A 物価高騰対策の臨時交付金などの財源が必要なので、水道事業としての実施は考えていない。

Q 今回国の補正予算2.5兆円は中東情勢予備費で当面はガソリンと聞いている。本来であれば、首相も「消費税減税は悲願だ」と言っていた消費税減税が出されるべき。しかし進まない。ならば、地方自治体として市民平等にいきわたる物価高騰対策、水道基本料金減免をすべきではないか。

A 今後の交付金を見定め検討していきたい。

体育館、各コミュニティセンタートイレの洋式化、久喜駅東西トイレ、公園トイレの改善を進めよ

Q 小中学校体育館のトイレ洋式化は、学校教室棟トイレ洋式化と同時に進めるのか。計画は。

A 並行して、体育館に洋式トイレがない学校から整備を進めていく。

Q 各コミュニティセンターのトイレ洋式化率が

低い。青葉と久喜中央についてどう進めるのか。

A 青葉は令和9、10年度の長寿命化改修工事で進める。久喜中央は今後の大規模工事等で検討する。

Q 久喜中央の大規模改修工事の予定はあるのか。

A 今のところ具体的な予定はない。

Q 予定がないのなら、このトイレ洋式化改修への要望は大変多い。高齢者が生き生きと生涯学習していくためにも計画を作してほしい。



A 限りある財源 久喜中央コミュニティセンターのトイレの中、洋式化率向上は検討する。

その他の質問 ◇データセンターの誘致・開発は市民合意を◇栗橋中央コミセンの在り方は市民説明を◇市道久喜2211、2219号線の舗装を◇空地の除草を

定住人口増加促進のため

久喜市公式SNS発信の強化を

むらまつ 健太 議員

政策会議



Q 久喜の魅力は市外に十分届いていない。T i k T o k開設や民間ノウハウの活用も含め関係人口の拡大へ向けSNS発信を戦略的に強化すべきではないか。

A 令和9年度のフォロワー数目標4万8,500人に対し、現在は4万5,385人。他自治体の運用も増え、認証バッジで安全性の課題も解消できる。目的やスケジュールを整理し、T i k T o kの導入を検討する。リールや週刊久喜市ニュースも活用したい。

移住の動線とLINE登録の拡大を

Q 公式インスタグラムに移住相談窓口へのリンクを設け、防災の観点からもLINE登録者を早急に増やすべきではないか。



A 窓口へのリンクは実施できるため、情報発信に取り組む。登録者が1万3,747人のLINEは、交付金の申請などを入り口に拡大を図る。市長も名刺でQRコードを周知している。

地産地消の強化を

Q 農家の販路確保は担い手育成の要だ。規格外農産物の給食活用はトマトのみで量も限られる。活用品目の拡大やライブコマース*での販路開拓を進めるべきだ。

A 給食での規格外品はトマトに続く品目拡大を検討する。ライブコマースなど、農産物の発信手法も研究する。



外国人住民の現状と諸課題への対応状況は



杉山 鎮夫 議員

無会派

Q 外国人住民数の推移と国籍や在留資格の内訳、国内の技能実習生の失踪に対する認識。特定技能所属機関（企業）への協力要請の内容は。

A 住民数は令和4年3,179人から令和8年4,993人へ増加。国籍はベトナム・フィリピン・中国が上位。市内125の機関に生活ルール等の周知を依頼した。所在不明者の状況は把握していないが、人口や労働力確保と治安維持とのバランスが必要。

Q 外国人の国民健康保険料の納付状況や対応、協力要請制度の準備状況は。

A 加入者数は令和3年度718人から令和7年度1,087人へ増加。収納率はシステム上把握できないが、タブレットやオペレーターによる通訳を活用し丁寧に対応している。協力要請制度は国の通知を待って対応する。

Q 社宅となっている集合住宅の実態把握、地域での生活マナーに係る相談への対応状況は。

A 個別の入居状況は把握していない。生活習慣などに起因する相談がある場合は、個別事案ごとに警察や自治会等と連携して対応している。

Q 外国人市民相談窓口の相談実績と、日本人住民も対象とするなどの機能拡充への見解は。

A 令和7年度の相談件数は71件。現在も日本人からの相談を受け付けており、窓口の周知・PRを進める。

Q 日本社会の生活様式や地域の慣習を尊重する基本姿勢について伺う。

A 法令・ルールは全ての人に等しく適用される。生活環境の維持と多文化共生の推進の両立を図る。

その他の質問 ◇就農環境整備◇ICT教育の課題



外国人市民相談窓口

市役所業務でのペーパーレス化に向けて



瀬田 博文 議員

無会派

Q 市役所業務でのペーパーレス化について、先進的な埼玉県のやり方を参考に、久喜市においても極力紙を使わないよう、もう一步進める時期ではないかと考え、今後の方針を伺う。

A 業務のペーパーレス化について、環境負荷の低減という側面やデジタル技術の活用による業務の効率化を進める上で重要な取り組みであり、引き続き全庁を挙げて積極的に推進していく。紙を主体とした文書の運用に当たっては、会議等において大量の資料印刷が必要となることや、文書の保存、保管場所の確保が必要となること等のデメリットがあるものと認識しているため、具体的には行政文書のデジタル化を促進するため文書管理システムの導入を進めていく。

「広報くき」におけるペーパーレス化の進め方は

Q 削減効果の大きい「広報くき」について、現在28ページで減少傾向だが、他の行政発行の広報紙の中では多いほうである。記事の整理を進め

ページ数削減をもう一步進めることと行政区長の配布業務の簡略化を要望したいが如何か。

A 広報紙のページ数では、編集の過程で情報を精査し、5年度には32ページから28ページへと削減しており、現在も情報量が少ない月は24ページで発行するなど、ページ数の削減に努めている。また広報紙搬送を委託している自治体があることは認識しているので、今後は他自治体の事例を検証し、搬送業務の在り方を検討していく。



タブレットとA4用紙

農村センター(南コミセン)の今後の計画は

A 耐震補強や建て替えは行わず除却する方針

樋口 智洋 議員

Q 耐震不足により休館する農村センター（南コミュニティセンター）の後は、このまま事実上の閉鎖とする方針か、あるいは計画的な耐震化や改築によって再利用していくのか。

A 今後については、著しい老朽化やアセットマネジメントの観点から、耐震補強や建て替えは行わず除却する方針。なお、江面地区のコミュニティ維持の方法については、今後改めて検討する。



休館した農村センター
(南コミュニティセンター)

Q 当初は「本庁舎増築 → 第2庁舎を江面コミセンへ転用 → 農村センター除却」という計画だったが、本庁舎の増築中止により前提が崩れ、

久喜みらいの会

年間1万人超が利用する江面地区の拠点が置き去りにされる懸念がある。跡地に規模を縮小した拠点を再整備する考えはないか。

A [市長] 本庁舎の計画変更に伴う「公共施設個別施設計画」の改訂案は、多岐にわたる影響を精査した上で議会に上程する。江面地区のコミュニティ維持については今後検討するが、施設を除却した跡地に規模を縮小して新しい建物を造ることは現時点では考えていない。今後の公共施設更新にも莫大な費用が試算されている。施設がなくなる都度、地域の要望に応じて新設してはアセットマネジメントが進まないため、厳しい状況であっても地域の方々に説明していく。

住宅等防犯対策補助金の追加実施を

Q 住宅等防犯対策補助金が瞬く間に受付終了となった。市民の強いニーズに応えるべきでは。

A 申請方法や制度内容を再度検討した上で、令和8年度も国の交付金を活用して実施する。



栗橋行政センターを市民プラザにする考えは

A 現時点で建て替え案を採用するとは言えない

川辺 美信 議員

市民の政治を進める会

Q 栗橋市民プラザの整備は栗橋駅東口のまちづくりと関連して、今後どのように進めるのか。

A しずか館跡地に複合拠点施設として整備する。駅前広場や都市計画道路の整備状況を踏まえると、早くても10年後、用地買収等の課題から20～30年後になる可能性もある。

Q 栗橋中央コミセンは、耐震性に問題があり早急な対応が必要だが。



栗橋行政センター

A プレハブや既存公共施設への移動を検討してきたが、現在代替施設や方向性を再検討している。

Q 余熱利用施設に通えない市民のために、菖蒲・鷺宮老人福祉センター、菖蒲・鷺宮温水プー

ルを継続すべきでは。

A 老朽化が進み、不具合を抱えながら運営している。修繕費の増加や修繕が見込まれ、安全・安定的な利用が難しいため継続は考えていない。

Q 本庁舎の職員1人当たり床面積は。

A 令和7年度時点で16.8㎡となっている。

Q 総務省起債対象事業算定基準の21.93㎡、他市町の23.5㎡に比較すると狭すぎないか。

A 十分ではない。今後ペーパーレス化で保管庫を減らし執務スペースを確保する。

Q プレハブ会議室のリース終了後、中庭に新たな執務室を造り狭隘化を解消する考えはあるか。

A [市長] DX化で改善を進めた上で、なお必要であればあらゆる選択肢を検討する。

マイナンバー制度とマイナ保険証の問題について

Q 後期高齢者医療制度の資格確認書の交付は。

A 85歳以上の方は申請なしで、84歳以下の方は申請することで資格確認書を交付する。



医療体制の集約化で地域医療が受ける影響は

井上 忠昭 議員

無会派



Q がん医療提供体制の集約化で、久喜市が今後備えるべき対策として、この地域でできる医療を最大化し、患者やご家族の移動の壁を解消するアクセス支援を行っていくなど考えられるが。

A 集約化は限られた医療資源で質の高い医療を持続的に提供するための対応と考える。影響として、患者やご家族の通院、入院に伴う移動負担の増加や身近な地域で高度医療を受けることが難しくなるなどが考えられる。影響を的確に把握しながら、関係機関と連携していきたい。

Q 看護師不足につき、久喜市は現状をどう認識しているか。また、看護師不足がもたらす影響や将来的な見通しを行政の立場でどう考えるか。

A 埼玉県は人口10万人あたりの就業看護師数は全国でもっとも少ない水準で、久喜市も同様の水準と推測される。看護師不足が進行すると、病院や診療所において病床の休止や診療機能の縮小、救急患者の受入制限などが生じる可能性があり、

市内の医療アクセスに影響を及ぼす懸念がある。また、現場で働く医療従事者の負担増による離職の加速も危惧される。看護師確保は市町村域を越えた広域的課題で県が中心に取り組んでいるが、久喜市も連携を図りながら対応していく。

Q 市長は安全・安心を掲げているが、なにかあったときに確実に運べる体制、診られる体制も安全・安心の大きな要である。久喜市は公立病院を持っていないが、医療は市民のための安全・安心政策であるという意識をしっかりと持つべきでは。

A 地域医療を守るという意義を共有しており、地域医療の充実は非常に重要だと思っている。



麻しん患者の発生状況は

A 県内は5月末で40人と例年に比べて急増

新井 兼 議員

久喜みらいの会



Q 国内の麻しん感染者数は、6月中旬時点で前年同期比約3.7倍と急増。麻しんは空気感染するためマスク・手洗いでは防げず、有効な予防手段はワクチン接種のみである。①感染者の多くが15～49歳の活動世代であることを踏まえ、接種歴確認や追加接種の勧奨を進める考えは。②成人向けに抗体検査・予防接種費用の助成制度を創設できないか。③風しん対策として実施している妊娠予定・希望女性及び配偶者への抗体検査・予防接種費用助成事業を、麻しん対策にも拡充できないか。

A ①母子健康手帳による罹患歴、接種歴確認とワクチン接種の検討を市ホームページで呼びかけしているが、個別勧奨は考えていない。②市は定期予防接種のみを対象としており、麻しんの抗体検査費用・任意接種費用の助成は検討していない。③埼玉県が拡充した際に検討したい。

地域福祉活動拠点の維持・確保に取り組むべき

Q ①「ふれあいセンターこすもす」を鷲宮福祉センター閉鎖後の代替施設の一つとして位置付ける考えは。②社協が所有する同施設では、雨漏りや空調機設備の不具合が発生している。修繕費用の財政支援等を検討する考えは。③市長は社協の会長に就任したことから、課題を共有し、支援策を協議する場を設ける考えは。

A ①代替施設として位置付けることは考えていない。②現在の利用状況を勘案すると修繕費用の財政支援等をすることは考えていない。③財政支援は考えていないが、会長として協議していく。



不具合のある
「ふれあいセンターこすもす」

その他の質問 ◇物価高騰・賃上げに対応した公共調達における適切な価格転嫁を実現すべき

栗橋地区で計画されていた整備事業の行方



奈良 政宏 議員

久喜みらいの会

【Q】 栗橋駅東まちづくりは、栗橋地区の将来につながる重要な事業であり、街路事業としての整備やしずか館跡地の有効利用についての計画が進められていたが、計画通り進めていくのか、市の考えを伺う。

【A】 計画通り、駅前広場や都市計画道路等の整備を進めると共に、しずか館跡地には行政センター機能を有する複合拠点施設を立地していく。

栗橋中央コミュニティセンターについて

【Q】 令和8年2月定例会議において、本年度中に補正予算を組み、プレハブ棟の建設を目指す方針が示された。また、同施設の利用は、代替え施設との調整ができ次第、利用停止の方針であったが、予定通り進めていくのか市の考えを伺う。

【A】 大型の建設事業が短期間に集中。また、公共施設個別施設計画の第2期に多くの費用を見込んでいることから、方向性について、利便性・整備コスト・他の公共施設の状況を総合的に勘案し、

再検討している。

(仮称) 防災公園管理棟について

【Q】 令和10年度の完成を目指し、地域の皆様や水防団、利根川上流河川事務所との協議を重ねながら検討を進めた結果、建設に向けて今年度予算もついた。建設に向けて進捗状況と今後について、市の考えを伺う。

【A】 令和10年度の完成を目指してきたが、今後、多くの費用を見込んでいることから、栗橋中央コミュニティセンターの代替え施設や方向性などについて再検討している。



栗橋中央コミュニティセンター

新ごみ処理施設と余熱利用施設に
点字ブロック整備を

猪股 和雄 議員

市民の政治を進める会

【Q】 新ごみ処理施設と余熱利用施設に、積極的に点字ブロックを設置する方針を確認されたい。ベビーカーなどの通行にも支障になりにくいソフトタイプも開発されていて、東鷲宮の《あそびのにわ》にも導入されている。併せて検討されたい。

【A】 福祉のまちづくり条例の基準に基づき設置して、それ以外は視覚障害者に実際に建物内を確認してもらって、意見を聞きながら検討していく。

【Q】 条例が基準で示しているのは階段の上などの最低限の箇所だけなので、それ以外についても市で必要な箇所を検討して設置する方針を示していくべきだ。市では最低限以上は求められなければ設置しないということか。以前、福祉部長が『市民の歩く動線に設置する』と答弁していたが、それから後退している。市長の見解を聞きたい。

【A】 [市長] 条例の基準は最低限設置し、超える部分について意見を聞きながら調整していく。当然、市である程度の図面、提案を含めて視覚障害

者の意見を聞いていないに聞いて設置に向けて検討していく。

主要な市道に自転車レーンの設置を求める

【Q】 自転車は車道走行が原則であり、青切符制導入以降、自転車利用者の車道走行が増えている。

市内では現在は県道等に自転車レーンが設置されているが、市道への設置を推進するよう求める。

【A】 自転車レーンの必要性は高まっている。一路線でもやっていきたい。どのように設置できるか、警察との協議も必要なので年度内には始めたい。

【その他の質問】 ◇道路補修の促進◇リチウム充電電池の回収強化◇県立特別支援学校の中学部等の生徒に給食費支給を◇公共施設の維持補修費の拡大

県道幸手久喜線の自転車レーン
(自転車専用通行帯)



各常任委員会 所管事務調査

総務常任委員会

6月30日「埼玉東部消防組合の高機能消防指令センターについて」



▲新指令センターで説明を受ける

4月1日から本格運用している高機能消防指令センターを現地調査。119番通報の受付から指令・出動・現場活動までの体制が大きく向上したほか、指令台の増設やAI音声認識、地図連携、映像通報の導入により初動対応が迅速化した。さらに、加須市北川辺地域の不感地帯解消や既存基地局の出力強化、IP無線の導入により通信の確実性も向上し、全体として迅速・確実・安全な消防救急体制が強化されたことを確認した。

福祉健康常任委員会

7月1日「ふれあいセンター久喜について」

施設の老朽化に対応するため、大規模改修工事を予定しており、改修後も福祉施設として運営を継続する方針である。また、食堂・厨房は、高齢者及び障がい者向け配食サービスの配膳スペースとして活用されるとともに、子ども食堂やフードパントリー、学習支援の活動拠点としても活用されている。当委員会は、地域福祉及び子育て支援の拠点として、施設の有効活用を図ることが重要であると認識した。

建設上下水道常任委員会

7月2日「古利根川水循環センターについて」



▲沈殿池の水について説明を受ける

古利根川水循環センターは埼玉県の施設であるが、久喜市も維持管理や更新費用を負担している。一方、市議会はその予算や事業内容の審議に直接関与できないのが現状である。老朽化設備

の更新も予算確保が難しいとの説明を受け、負担金を支出する市として、施設の現状や更新計画をより把握し、必要な意見を県へ伝える仕組みの必要性を感じた。

教育環境常任委員会

7月3日「学校給食の試食・義務教育学校について」



▲新校舎について説明を受ける

鷲宮西小中学校の学校給食の試食では、児童との会話を通じて食育や教育活動における給食の重要性を再認識し、今後の充実に向けた継続的な調査・提言の必要性を確認した。義務教育学校の状況では、木材を活用した増築校舎や改修済みの既存施設、教員間の交流を促すフリーアドレスの職員室などを視察。これら施設・運用の工夫を、今後の学校整備や小中一貫教育の試金石として注視していく。

編集してます！

議会だより

広報委員会の活動紹介

定例会議が始まると
編集会議

休会日に
編集作業

定例会議後
入稿

3回の
校正作業

発行！

すぐに
次号の準備

割振

委員長と副委員長で誰に割振るか？



取材

現場でしっかり取材



企画

読んでもらえる紙面をみんなでアイデア出し



原稿執筆

一文字にこだわり原稿とにらめっこ





くき市議会だよりは、「久喜市音訳の会コスモスライブラリー」のご協力により、視覚障がいのある方等にデジ版（音訳版CD）を発行しております。送付を希望される方は障がい者福祉課にご連絡ください。



市議会を**傍聴**してみませんか？



本庁舎5階の議会事務局で傍聴券と資料を受け取ります。事前の手続きや書類の記入は不要です。



6階に上がり、廊下を突き当たると傍聴席の入口があります。会議中でも自由に出入りができます。



座席は自由です。スマートフォン等は音の出ない設定にしてください。議場内は、飲食できません。



（傍聴席から見える議場）

9月定例会議 日程（予定）

9月1日(火)	本会議（初日）
7日(月)	本会議（一般質問）
8日(火)	本会議（一般質問）
10日(木)	本会議（一般質問）
11日(金)	本会議（一般質問）
15日(火)	本会議（議案質疑）、予算決算常任委員会
17日(木)	総務常任委員会・分科会
18日(金)	福祉健康常任委員会・分科会
24日(木)	建設上下水道常任委員会・分科会
25日(金)	教育環境常任委員会・分科会
10月5日(月)	予算決算常任委員会、本会議（最終日）

議会だよりのキャラクター「ギ飼い猫」の
きくべーです



編集後記

改選後の新しいメンバーでお届けする市議会だより、いかがでしたでしょうか。市民の皆さんに、議会でどのような議論が行われているのかを分かりやすく伝えることを目指して編集しています。身近な課題がどのように話し合われ、街づくりに活かされているのかを感じていただける紙面づくりに努めています。

（川辺）

私たちが取材・編集しています（広報委員会）



むらまつ 健太	菊地 雅典	福井奈穂美	川内 鴻輝	○奈良 政宏	◎川辺 美信	○杉野 修	春山 千明	平岡 りえ	杉山 鎮夫
---------	-------	-------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	-------

◎委員長 ○副委員長